

PFI手法等を活用した効果的・効率的なインフラ整備の推進

平成27年11月11日

明治大学公共政策大学院 田中秀明

説明資料

PFI(コンセッション含む)推進の課題: 政治的な指導力が不可欠

2015年11月11日 明治大学公共政策大学院 田中秀明

1. 危機感の共有がない(改革の必要性が認識されていない)



- ①30年超の将来にわたる財務・資産の分析を行い、事業の「見える化」を図る(総務省通知の「経営戦略」、「投資・財政計画」を早急に策定)。関係者における問題の共有が必要。
- ②改革の選択肢を検討し(民営化やコンセッションは1つの手段)、**住民・議会に説明し、方針を決定する。**

2. 民間が参入できるインフラ市場(特にコンセッション)が形成されていない



- ①民間事業者の要望を徹底的に聴取し、**制度や手続きを見直す**(議会承認となっている料金設定の弾力化、水道コンセッションの運営権者の業務範囲の限定など)
- ②電気・ガス・上下水道等、類似の事業がバラバラに管理・規制されており、相互に参入できるような**地域総合ユーティリティ会社**を官民でつくる(官も一定関与、**地域創成に貢献**)。

3. コンセッション等を推進する金銭的なインセンティブがない



- ①**国の補助金や地方交付税を削減し**、コンセッション等の選択肢を真剣に検討させる(予算を下記に振り向けることも)
- ②PFI等の検討を進めるための助成金があるが、案件形成に至っていないので、**インセンティブ付与などを含め事業契約締結を目指すための仕組み**に変える(一定規模の自治体に絞って具体化するための事業に転換する、責任を明確化する、全面的な支援体制を構築する、空港の事例を見習うべき)